



ほろ酔い気分で熱戦展開

二月二十六日、第二十六回土佐はし拳全日本選手権南田場所が、日本はし拳南国協会などの主催で開催された。会場となった市民体育館では、市内外から参加した男女拳士約二百八十人が熱戦を繰り広げ、自慢の腕を競っていた。
大会は三人一組の団体戦と個人戦が行われ、畳の上で向き合った拳士たちは、「ハイ、いらっしやい」「ハイ、三本」と威勢よく声をかけながら手を差し出していました。負けた拳士たちは、杯にそそがれた日本酒を一気飲み、歓声が一日中続いていた。

元気に火の用心

春の全国火災予防運動期間中の三月二日、喜岡保育園の幼年消防クラブが、市消防署からサニータクシスまで、太鼓を打ち鳴らしながら「火の用心」と元気に防火パレード(写真上)。



また、同九日にはひまわり幼稚園の幼年消防クラブがサンシャイン南国で防火演奏、かわいらしい鼓笛隊の演奏に、訪れた買物客らも足を止め、しばし聞き入っていました。



かわいい子供たちに笑顔

三月三日、老人保健施設「夢の里」でひなまつりが行われました。(写真上) ひまわり幼稚園からは園児が参加し、かわいらしい歌声を披露、また、グループ「しずん」による琴、フルート、ピアノのアンサンブルの演奏などもありました。なおひな人形は色々な方から寄付していただいたそうです。また、八日には岡豊保育園の子供たち約六十人が「夢の里」を訪問、歌や踊りで交流、手作りの首輪をプレゼントしました。



交流のきずなをしつかりと

ガーナから高知大農学部へ留学し、五年になるエベネゼル・オウスさん(立田)も。その間地区運動会で活躍するなど、市民との交流を深めてきました。
そのオウスさんが学立位を取られ、三月で奥さんのモニカさんともども帰国することに。そこで、地区の方々、留学生仲間ら有志五十人余りによる送別会が行われました。
会では、参加者らが手作り料理を囲み、歌や踊りで交流、別れを惜しみながらも今後の交流、活躍を祈りあいました。



▲2月18日の国際貢献講演会では、「植林ボランティアってなあに」と題し、自然保護団体ウニルカンパニー副会長の石井淑雄さんによる講演がありました。

◀2月24日の連合婦人会市政会議では、市執行部に対し、議会さながらの質問がされました。



▼2月19日、県内11の手話サークルが参加し、第1回県手話サークル連絡協議会が行われ、参加サークルは、手話での活動報告などで、交流しました。

▼かねてから地区住民よりの要望があった「三島多目的広場(2,500㎡)」が完成。2月22日、地域の方々主催の落成式が行われ70人ほどが参加しました。



▶2月19日、荒瀬杯バドミントン大会が行われ、市内外から70人ほどが参加。中学生から壮年の方まで、日ごろの練習の成果を発揮し、熱戦を展開しました。



◀人口増加が進む十市パークタウンに建設されていた、平成学園アトム幼稚園が完成。3月4日に落成式が行われました。



▼3月3日、明るい社会の実現を目指し、更生保護大会が開かれました。



▼3月14日に行われた、わらび座公演「いのちの歌」にたくさんの人が訪れ、生き生きとした民謡の世界を存分に堪能しました。



▲3月3日、箱吉地区でお年寄りのひなまつりが行われました。全て手作りのこのひなまつり。参加者50人ほどは甘酒を飲んだり、歌などで交流を深めました。



▶4月13日に開催予定の、劇団ふるさとときやらばん「男のロマン女のフマン」の結団式が、3月10日に行われ、主催の4日クラブら関係者は成功を誓いあいました。